

医療保障について考えよう

基本編



入院時に必要となる日額の目安は1日あたり10,000円～15,000円と言われてます。保障選びの参考にしましょう。

①医療費5,000円 + ②医療費以外の出費5,000円 + ③必要に応じて(所得補てん等)5,000円 = 10,000～15,000円

※厚生労働省データよりコープ共済連にて算出

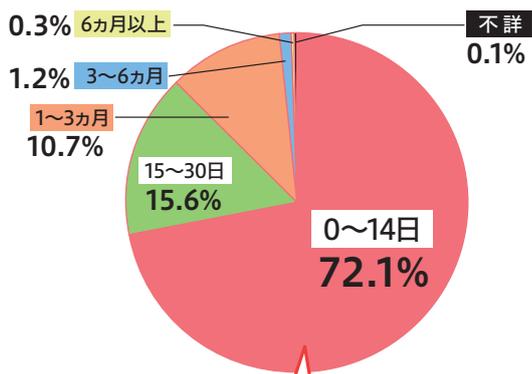


入院時の医療費に備えて、長めの保障があると安心!

近年、入院は短期化していますが、病気によっては長引くこともあります。安心して治療できるように長めの保障(1入院につき、180日程度)が安心です。医療費として備える金額は、「高額療養費制度」を考慮して入院日額5,000～6,000円が目安となります。

✔ 「高額療養費制度」についてはP7を確認しましょう。

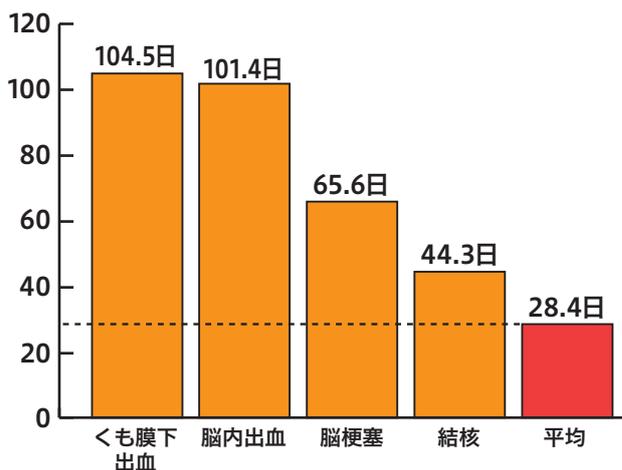
入院日数の割合



約7割が14日以内の入院

厚生労働省「患者調査」(令和5年) ※病院での一般病床の在院期間の割合

平均入院日数が長い病気



厚生労働省「患者調査」(令和5年) 「平均」とはすべての傷病分類の平均入院日数



医療費以外の自己負担となる出費をカバーできると安心!

入院時に少人数部屋や個室を希望した場合の差額ベッド代や食事代、この他、日用品やテレビ代などの自己負担となる出費を考慮して、入院日額5,000円程度をプラスすると安心です。

負担額が上がってきているのね。



【例えばこのようなもの】



差額ベッド代



食事代



日用品



テレビ代

差額ベッド代の1日あたりの平均額

1人部屋の平均額 **8,437円**

2人部屋の平均額 **3,137円**

4人部屋の平均額 **2,724円**

(厚生労働省 中央社会保険医療協議会「主な選定療養に係る報告状況」)
※令和5年7月1日現在

入院中の食事代

2024年5月31日まで
1食につき **460円** (一般)

2025年3月31日まで
1食につき **490円** (一般)

2025年4月1日から
1食につき **510円** (一般)

1日あたり1,530円

※令和7年4月1日現在

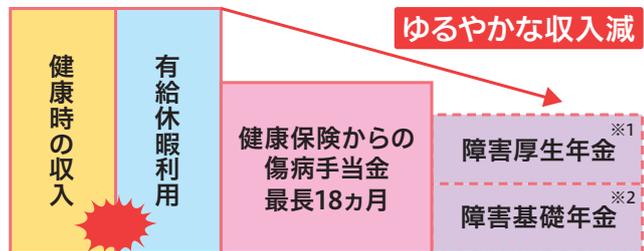


入院中の収入減を考え、所得補てん分を追加しておく、より安心!

ケガや病気で働けなくなった場合の収入を補うために、入院保障を手厚くすることで補てんするという方法もあります。特に自営業の方は、働けなくなると収入が大きく減る場合があるため、より手厚い備えが必要です。

☑ 収入補償についてはP14「医療保障について考えよう【収入補償編】」も確認しましょう。

■ 会社員(全国健康保険協会管掌健康保険加入者)



就業不能 → 時間

※1 重度の障害認定(1級~3級)を受けた場合 ※2 重度の障害認定(1級~2級)を受けた場合

■ 自営業(国民健康保険加入者)



就業不能 → 時間



入院以外にも、手術やケガ通院の保障も備えておくと安心!

手術の保障

手術の保障は年齢に関係なく、ある程度まとまった金額を備え、入院を伴わない日帰り手術も対象となるものが安心です。

ケガ通院の保障

日常生活でよくある小さなケガにも備えて、通院1日目から保障されるものが安心です。遊びや部活動などで活発なお子さんや、転倒の危険が高まるご年配の方は備えておくとよいでしょう。



支払い件数の多い日帰り手術

原因	支払件数
消化器系の良性新生物	11,829件
白内障	4,942件
網膜剥離	2,338件

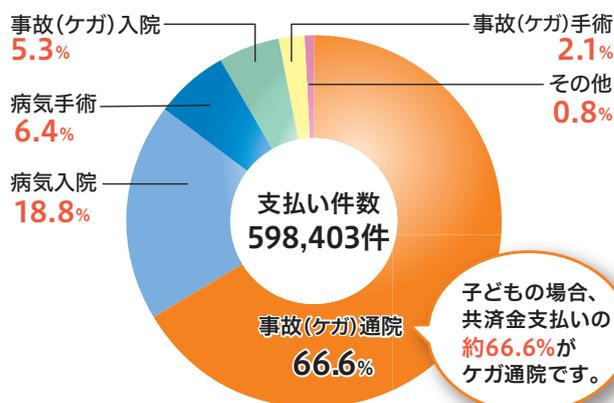
※2023年3月21日~2024年3月20日《たすけあい》《ずっとあい》共済金お支払いデータ

支払い件数の多いケガ(全年齢)

	原因	支払件数	平均通院日数
1	急激な動作による事故	219,926件	7.8日
2	転倒・転落	140,236件	6.8日
3	他人との接触によるケガ	46,749件	5.7日
ケガ通院支払合計		536,857件	7.8日

※2023年3月21日~2024年3月20日《たすけあい》共済金お支払いデータ

子どもの支払い件数の割合



※2023年3月21日~2024年3月20日《たすけあい》共済金お支払いデータ



定期タイプで備える? 終身タイプで備える?

定期タイプ 保障する期間が限られている

同じ年齢で加入しようとしたとき、終身タイプと比べると掛金(保険料)が安価になります。

どちらか一方のみを選ぶというよりは、ベースとして必要な入院保障の医療費部分にあたる5,000円と手術保障は「終身タイプ」で、入院保障の医療費以外にかかる部分(+収入補てん分)を「定期タイプ」で都度、見直ししながら備えることが望ましいです。

終身タイプ 一生涯保障が続く

亡くなるまで保障が続くので、保障が途切れる心配がありません。

定期タイプ 掛金(保険料)が上がる



終身タイプ 掛金(保険料)は一定

